

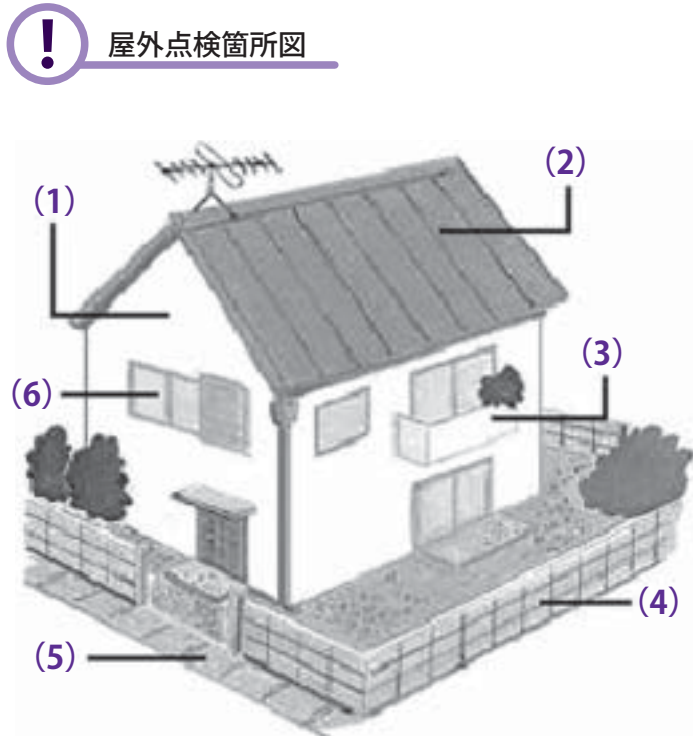
# みんなを守る 119

## 風水害対策

台風や豪雨の威力は、計り知れない反面、事前の対策次第で被害を最小限に抑えることが可能です。いざというときに備え、家庭はもちろん、地域ぐるみで日ごろから対策をとるようしましょう。

福岡県のホームページで、主要箇所の降水量や河川の水位情報を知ることができま。

(<http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>)



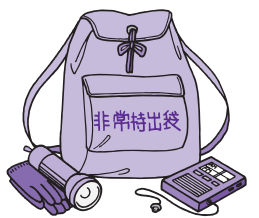
- ▼屋外では
- (1) 外壁
  - ・モルタルの壁に亀裂がないか点検しましょう。
  - ・板壁の腐りや浮きをチェックしましょう。
- (2) 屋根・雨どい
  - ・瓦にひび、割れ、ずれ、はがれがないか点検しましょう。
  - ・トタンのはがれやめくれを点検しましょう。
- (3) ベランダ
  - ・物干し竿や鉢植えなど落下や飛散の危険性があるものは片づけましょう。
- (4) ブロック塀
  - ・ひび割れ、傾き、破損箇所がないか点検しましょう。
- (5) 側溝
  - ・側溝のゴミや砂を取り除き、雨水の排水をよくしておきましょう。
- (6) 窓・雨戸
  - ・窓のひび割れや窓わくのガタツキがないか点検しましょう。
  - ・飛来物に備えて外側から板で補強をしましょう。
  - ・雨戸にゆるみやガタツキがないか点検しましょう。

### ▼地下道、地下室など 地下空間での特有の危険性

- ▼屋内では
- ・停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をしましょう。
- ・避難用に貴重品などの非常持出品を準備しましょう。
- ・気象情報に常に注意します。
- ・外出はできるだけ避けたいようにしましょう。
- ・断水に備えて、飲料水などを確保しておきましょう。
- ・浸水の恐れがあるときは、家財道具、食料、衣料、寝具など生活用品を高い場所に移動しましょう。
- 地下道や地下室などの地下空間では、次のことに注意しましょう。
- ・地下などでは雨の強さや天候の急激な変化がわからなくなります。
- ・地上が冠水すると一気に水が流れ込んでいきます。
- ・流れ落ちる水で階段は登れなくなりやすくなります。
- ・水圧でドアが開かなくなりやすくなります。
- ・換気口など思わぬところから水が流れ込んでいきます。

### ▼こんな土地では

- ・造成地 豪雨により地盤が緩み崩れる危険性があります。
- ・水抜き穴からにぎり水が出るなど、普段と変わった状態があれば要注意です。
- ・扇状地 山間部の集中豪雨に注意しましょう。豪雨によって山崩れが起こると土石流が扇状地を直撃します。
- ・山岳地帯 山崩れは集中豪雨ばかりではなく、地震によっても発生します。特に樹木の少ない山間部では土石流の危険性があるので厳重な警戒が必要です。
- ・河川敷 昔、河川だったところや河川の流域は急激な水かさの上昇が考えられるので、洪水警報などが出たらいつでも避難できる準備が必要です。



## ともに育てる須恵

### 須恵町を未来に残すために

須恵町の総面積は16・33平方キロメートル。東部と北部には若杉山と岳城山、北西部と南部には平野が広がる緑豊かな町です。この町とそこに住む人たちの環境と安全を守り、須恵町を未来に残すために、自らの意思で活動をされている人たちが大勢いらっしゃいます。

そこで、その活動を続けられている人たちを紹介しています。

最終回は、幼児園や幼稚園などで畑のお世話をされている森山朋納さん（須恵区・81歳）です。

#### ▼活動内容は

活動は、幼児園や幼稚園、保育



園児たちからは「森山さんのおじいちゃん」と呼ばれます

#### ▼活動を始めて感じたことは

5月22日(金)には、アザレア幼児園で玉ねぎの収穫がありました。森山さんは、園児たちに「とったねー」とか「大きいのばもっていきー」と話していました。また、「だいたいライスカレーはするくらいあるでしょう。次は、サツマイモを植えます。」と話されていました。

3回にわたって、活動を続けていらっしゃる人たちを紹介してきました。町内には、このほかにも多くの人たちが活動されています。須恵町は、このような人たちによって支えられています。

LAST

# 6月 わくわくデイサロン 7月

65歳以上 男女とも募集しています 初めての方大歓迎!

<p>17日(水) 陶芸 (定員 25人まで) 講師 光安 逸子 先生 自己負担金 500円</p>	<p>1日(水) さくらアート 講師 健康福祉課スタッフ 自己負担金 500円</p>
<p>19日(金) 癒し・機能リハ&amp;知能リハ 講師 健康福祉課スタッフ 自己負担金 200円</p>	<p>3日(金) 塗り絵 講師 健康福祉課スタッフ 自己負担金 200円</p>
<p>24日(水) ハンドベルと懐かしい唱歌 講師 高間美奈湖 先生 自己負担金 300円</p>	<p>8日(水) ケアピクス 講師 林崎万里子 先生 自己負担金 300円</p>
<p>26日(金) いけばな 講師 健康福祉課 南里 自己負担金 500円</p>	<p>10日(金) わくわくお楽しみ会 講師 健康福祉課スタッフ 自己負担金 500円</p>
<p>●申込資格 65歳以上で町内に住所を有する人 ●開催日時 水・金曜日の朝 (10:00~12:00) ●場 所 地域活性化センター1階 ●定 員 30人 ※予約が必要です。 ●申込み・問合せ先 健康福祉課 ☎932-1151 (内線126)</p>	<p>15日(水) 陶芸 (定員 25人まで) 講師 光安 逸子 先生 自己負担金 500円</p>